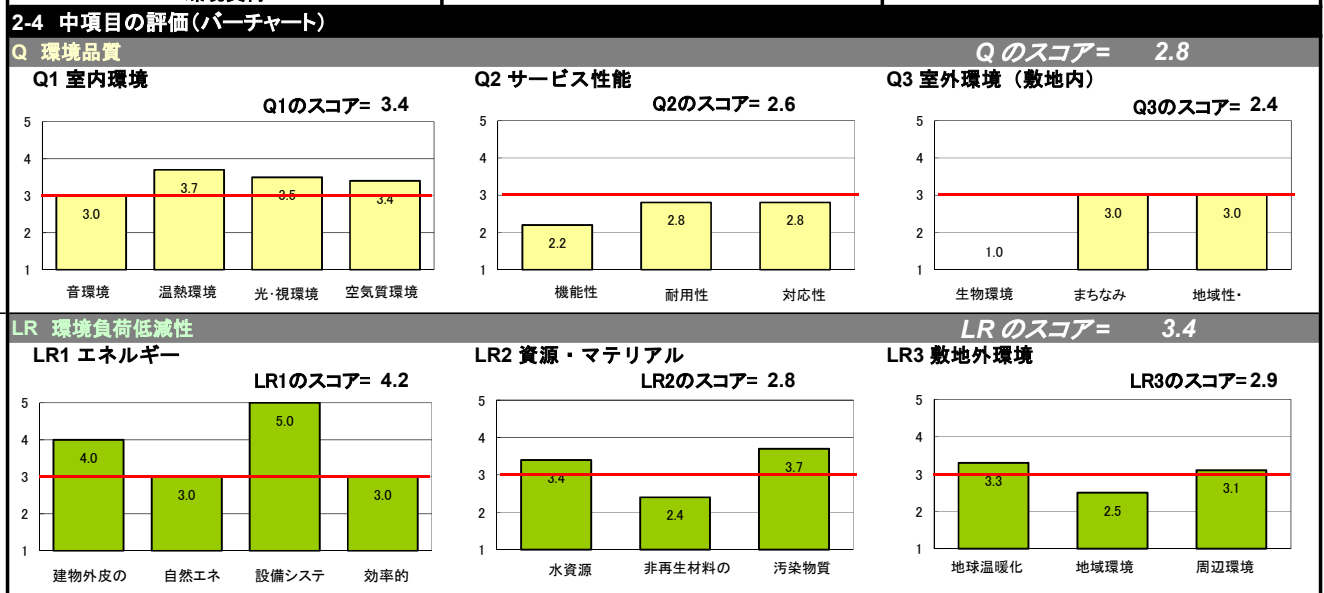
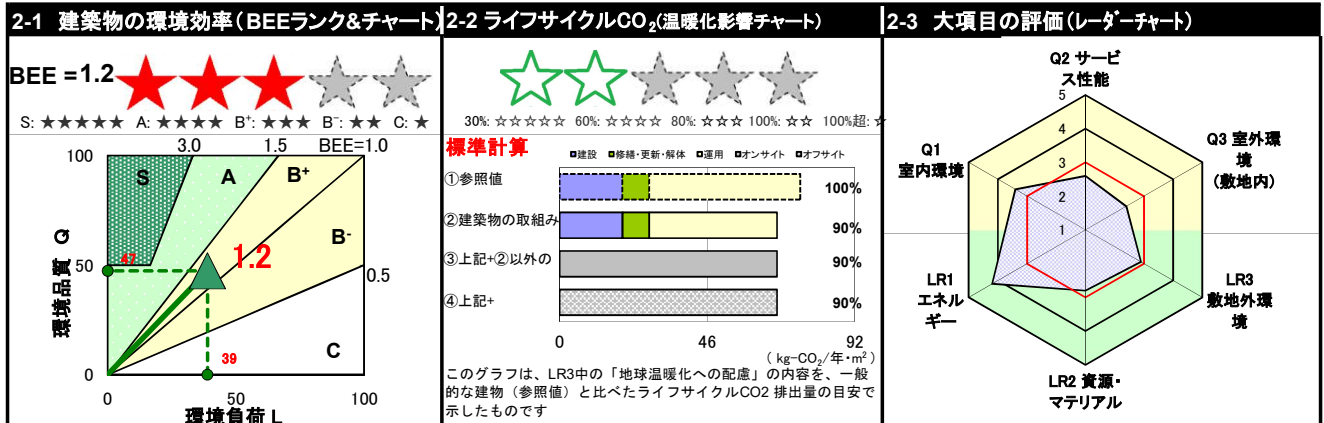


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	令和5年度市営吉崎住宅新築工事	階数	地上9F
建設地	福岡県福岡市西区吉崎団地157-2の一	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	162 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年3月3日
敷地面積	3,511 m ²	作成者	馬場 奈美
建築面積	538 m ²	確認日	2023年3月3日
延床面積	3,860 m ²	確認者	神川 あかね



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
周辺地域との調和を図りつつ、生活利便性を高めた緑豊かな居住環境となっている。		0
子供達・高齢者達が安全に安心して暮らせるよう、コミュニティの充足を図り、多世代にやさしい建物となっている		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F★★★★の建材を使用することによりホルムアルデヒドの発生を抑え、室内環境に配慮している。 外皮断熱性能は、全住戸等級4を取得している	居室の天井高2.5m以上を確保することにより、ゆとりのある空間を計画している。 また、給水・給湯の配管はさや管ヘッダーシステムの採用により、躯体や	周囲の環境に溶け込みやすいデザインにて計画している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
ガス給湯器を高効率型を使用することにより、建物の設備による熱負荷を軽減している。 また、LED照明を採用で設備の省エネ化を図っている。	水資源保護を考慮し、超節水型器具を採用している。	ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮がなされている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される